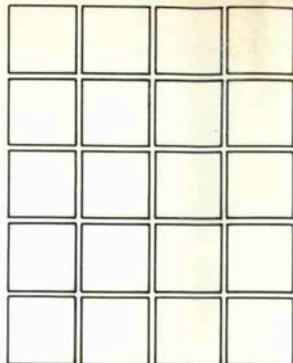


THE 1985 6 KOBECOCO



JUNE No. 290

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

昭和60年6月1日印刷 通巻290号

昭和60年6月1日発行 毎月1回1日発行

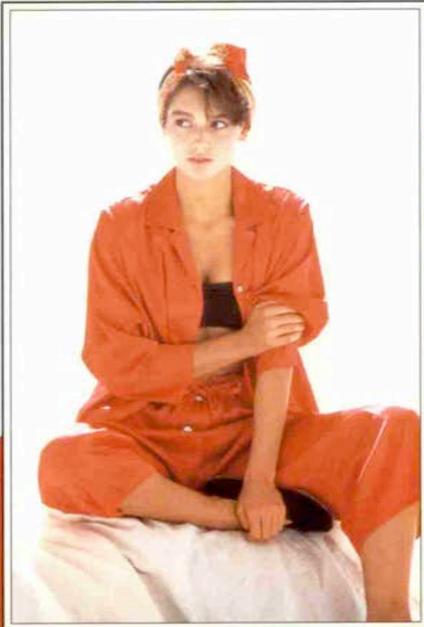


征服という名の衣服。

神戸・三宮本通りに誕生した 《ベニヤ》クブラカーン。

世界統一の野望をいだいて
果しない砂漠を駆めぐった征服者クブラカーン
どこまでも自然でストレート
そんな生成りのライフイメージこそ衣服そのものの原点です。
《ベニヤ》クブラカーンは
無目的に身にまとい多目的に着こなすことの心地よさを知っている人の自由着
ベニヤとアルファキュービックが共同でプロデュースした
着る人次第であらゆる可能性が生まれてくる
衣服そのもののライフスタイルです。

レノマ店に続きベニヤの1ブランドショップです。



kubla khan

ALPHA CUBIC

BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

クブラ・カーン店 / 神戸市中央区三宮町2丁目8-10 TEL.078(332)4858



A close-up photograph of a woman's back and shoulder, showcasing several strands of beaded necklaces. The necklaces are composed of small, dark beads interspersed with larger, metallic, cylindrical beads. The lighting is dramatic, highlighting the texture of the skin and the intricate details of the jewelry. The background is dark, making the woman's skin and the jewelry stand out.

私は、罪つくりな曲線です。

ジュエリーの進化が始まります。



田崎真珠



リクルート神戸ビル

リクルートは、高度情報化社会における
 あたらしいコミュニケーションの実現を目指します。



リクルートブック
 「兵庫の企業情報」



住宅情報



就職情報



とらばーゆ



ベルーフ

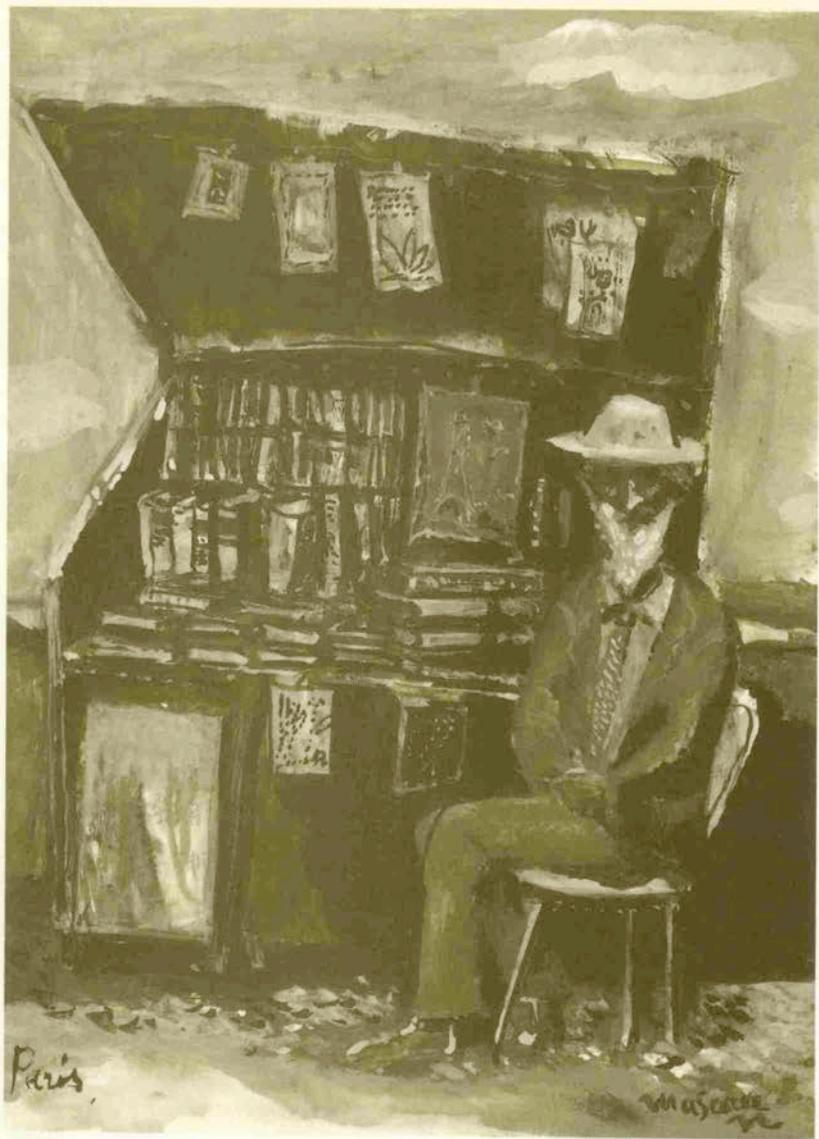


リクルートテスト



リクルート

神戸支社 神戸市中央区江戸町95
 ☎651 ☎(078)391-8100(代)
 姫路営業所 姫路市白銀町24 阪神相銀第一生命ビル
 ☎670 ☎(0792)24-7171(代)



● Second Cover

世界の物売りへ6 フランス

セーヌ河畔の古書・古画・古老

中西 勝 二紀会

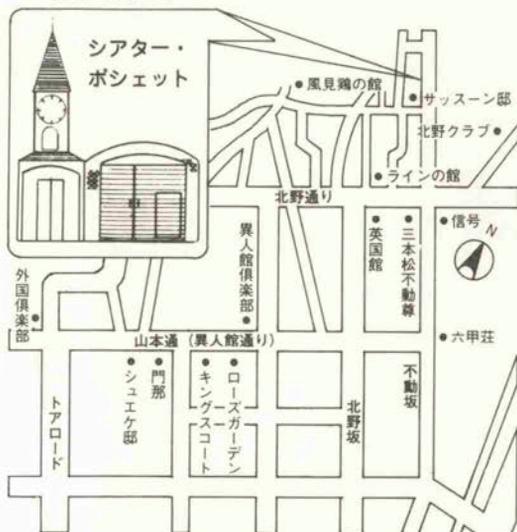
実験交流サロン

シアター・ポシェット



館長 佐本 進

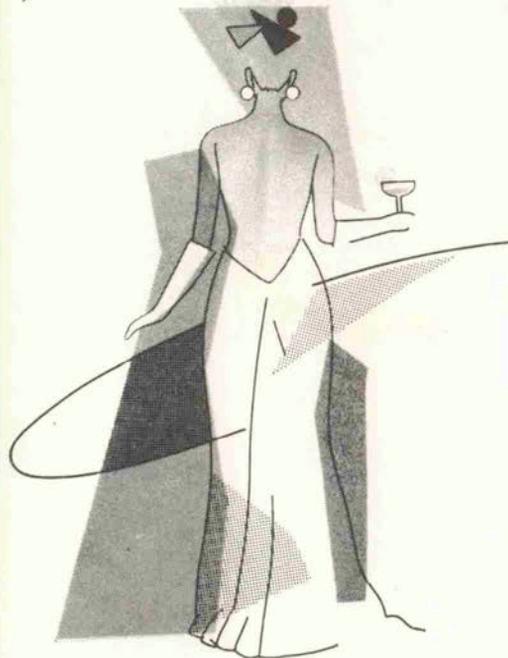
人との出会いが**好き**
無感動の時代**だから**
感動**してみたい**



★シアター利用のご案内

- 曜日、時間 / 土、日曜日 (通常) AM10:00-PM8:00
- 費用 / ホール設備の使用無料。光熱、空調、管理費のみ実費
- 付帯設備 / グランドピアノ・エレクトーン・録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー・テープレコーダー、マイク、映写機等
- お申し込み、お問い合わせ
そごう前センター街東南角、さんちか入口
〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F
佐本小児歯科 佐本進 ☎331-6302-3

気になる人って
いつもおしゃれ。



ウール、シルク、きもの…美しさを演出するファッションに磨きをかけます。

SINCE 1933



ニシジマ

本社 / 神戸市灘区記田町1-2-16
TEL 078-851-2440
大阪支社・山手店・宝塚店・ロープニシジマ

世界の一流ブランドを一堂に集めて
豪華なおしゃれの貴賓室、誕生。

ROYAL SALON

新館 5F

新しい感性にふれるときめき。人を酔わせる美しさ。
最高のものだけがもつ気高い魅惑。
そのすべてを満たし、神戸を訪れる人々を魅了してやまない
ロイヤルサロン「パレロワイヤル」。
気品あふれるエレガンス、そして美しさとの出逢いを秘めて、
いま、生まれました。

ミラノが、パリが、ロンドンが、競いあう装いの美。


Valentino
ヴァレンチノ・ガラバーニ


CÉLINE
セリーヌ


Aquascutum
アクアスキュータム


Gianni Versace
ジャンニ・ベルサーデ


GUCCI
グッチ


TRUSSARDI
トラサルデ


HERNO
ヘルノ


GUY LAROCHE
ギ・ラロッシュ


BOTTEGA VENETA
ボッテガ・ベネタ


FENDI
フェンディ


LANVIN
ランバン


MIYASE
マイセン

魅力のエレガンス・バリエーションがさらに増えました。

Elegance André Coligny le mut de Cartier McGeorge
JAEGER L'ÉPARGNE FABRIQUE COTTESSE BAXER CHRISTIAN DIOR
mlla schön boutique BEST PORTRAIT GOLD-PFERL
La Marquise Francesca smalto Jenny ESCADA

マイセンサロン(ティールーム)

東京帝国ホテルでおなじみのマイセンサロンが、(その)神戸店にオープンします。
マイセン 陶器に彩られたくつろぎの空間で賢美なひとときを、お楽しみください。



 SOGO
SANNOMIYA KOBE

心まで、煌^{キラ}めいて。

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

衣裳に花の命を与ふ

西村よう (画家)

西村ようさんは命を削るがごとく絵を描く。ブラウスに、靴に、傘に。グリーンを基調の種々の花が咲いていく。だがそこに悲愴感はない。透明に、繊細に、穏やかに。

武蔵野美術大学時代、テニスに明け暮れた。そのテニス合宿で友人がはずみで振り回した石油カンが頭部に激突、以来身体の不調が続く。そして昨年、二度にわたって頭部の手術を受けた。「手術の後、人生観が変わりました。人に對して優しく迎えてあげたいと」。かぼそくこぼれる微笑の中に力強い一面ものぞかせる。

夫君の泰利氏は建築家、義父は画家の西村功氏。芸術的香気が周囲にある。学生時代は油絵をやっていたの。卒業後、イタリヤの陶器のデザインに魅せられ、その足で画材屋に出向き、アクリル絵の具を買ったのがはじまり。子供たちに絵を教えていたときもある。「子供部屋の壁に絵を描いてあげたこともあったわ」。

六年ぶりの個展を四月十一日から十六日まで開いた。限りなく優しく来場者を出迎える。会場では期せずしてフォークソング大会が始まった。「グリーングラス」「パフ」など、かつて愛した歌を天使のように歌い続ける。そして二人の娘の母親でもある。が、この母に次の手術の宿命の日も近い。35歳。

(ギャラリーほりかわにて)



■ビッグインタビュー

小原豊雲



美女登場「三田佳子」

日本の宝との出会い

「湯女図」

今昔絵双紙〈14〉

田辺聖子

絵／岡田嘉夫

新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) 6月号

小説
太陽の発見者
阿部牧郎



上
味覚紀行
「わらびの里」楠本憲吉

談
神戸はインキュベーターの
対 機能を持ち続けるべきだ

柏井健一・小森星見

復刊一周年記念100人アンケート特集

神戸21世紀

どうなるどうする



大阪の曲り角 ●木津川計

じゃばにすりぢぢ丸 ●石濱恒夫

玄妙禅談 ●村瀬玄妙

創造の
世界 ●大阪大学工学部通信工学部

カルチャーカレンダー／パーティ&シン
ボジウム／タウンジャーナル／今月の健
康／名医に聞く／西日本ホットライン／
マンガ・小島功の好色一代男／バロンナ
リテイ'85／BOOKレビュー／オラクル
／激突グリーンライバル／川柳／程さん
のうんちく料理塾

スター・ハイライト
中山竹通



十九歳の童貞作品集出版

さめはだもんじゅ
鮫肌文殊

（近畿大学在学中）カイワ、池田年夫

「父しぼり」——五月に鮫肌文殊の自称童貞作品集が長征社より発刊された。現在近畿大学商経学部在籍中（大学にはあまり顔を出さないそうだが）の弱冠十九歳の著者は、あの月刊ビックリハウスで同誌初のエンピツ賞二回連続受賞で注目されたかと思うと、第一回カートゥーン大賞も圧倒的支持で受賞した。そこで高校時代から書きためていた小説、詩も加えて一冊の本となった次第。中味は、ご本人曰く「チャンチャラオカシイ本」だが、その笑いは極めてニヒルだ。何でもない題材を意地悪っぽく料理していく。小学生時代は漫画少年、中学生時代は学級新聞作りで人気者だったというだけに、文章は達者、漫画も色んなパターンが描ける。「僕はアルバイトもせえへんし、モノグサやら、本が売れたら嬉しいナ」必死で書いたという風情が全くない。まだまだ余力がありそうなのが頼しくもある。

今一番凝っているのはパンクロックで自ら「捕虜収容所」というグループを作り、楽譜は全然読めないが、ボーカルを担当している。着用のパンクっぽい皮ジャンもご自慢の一張羅だ。「変なものを書くので、親兄弟からは見放される」が、天才を生むAB型に期待できる。伊藤つかさの大ファン。本名・井上英樹。神戸生まれで現在高砂市在住。



自然の甘さが好評です。 2F「茶寮」で夏の味覚を



みなさまに親しまれて
53年。厳選された最高級
の材料を用い、一つ一つ
丹念に心をこめた手づく
りの和菓子。
四季折り折りの上品な
風味をお届けいたします。



二つ茶屋

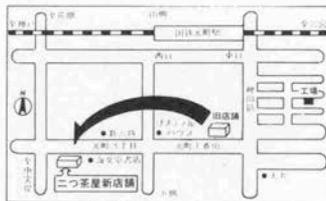
本店 中央区元町通3丁目7-9 ☎(331)0755(代)

岡本店 東灘区岡本1丁目5-5 ダイソービル内

☎(452)0570

工場 中央区三宮町3丁目10

☎(331)0796





明治の面影を残した外観



玄関前でテープカット



「県公館は明治、大正、昭和の三代にわたる時代の証言者」と坂井知事



オープンを記念して絵画を寄贈した洋画家の小磯良平氏(3階ロビーにあるタペストリーの前で)



県花ののじぎくを型とったシャンテリアのある大会議室



旧南庁舎復元模型もある県政資料館



公館の一角にある純和風の「楠園亭」

●コウヘスナップ

県公館完成式華やかに

明治時代の名建築、フランス・ルネサンス様式の旧兵庫県南庁舎が、迎賓館と県政資料館を備えた兵庫県公館として生まれ変わり、4月17日、完成式が行われた。坂井兵庫県知事と伊田県会議長が公館玄関でテープカット。続いて、一階の豪華なレセプションルームで、宝塚歌劇団の春風ひとみさんら12人がはかま姿で、花や春にまつわる歌を披露し、完成を祝った。そのあと「県公館が県政の新しいシンボルとして県民に親しまれるように祈念します」と坂井知事が挨拶。

式典には旧南庁舎を設計した故山口半六氏の孫で、中村元・東大名誉教授夫人の路子さんも招かれ、坂井知事から記念の花束が贈られた。

■ある集い■

正体不明のおもしろい集い

六甲を考える会



アイスロードを通過して運んだ氷を八幡神社に奉納

上段・第1回六甲ギャルコンテスト/下段・講師を招いての文化講演会

いざ行け

われらドンキホーテ

元 正章ハジメ (六甲を考える会世話役)

「六甲を考える会」とは、なんぞいな。正直言って、発起人の一人である私にも、この会の魅力語り尽すことは難しい。発足して二年。本来ならば、とつくの昔に空中分解してもおかしくない現実の厳しさなのに、今や「六甲を考える会」は六甲を揺り動かす行動隊にと発展していった。

地元有志約二十数名の集まり。まったくのボランティア活動であっても、構成メンバーは個性豊かな、バイタリテイに富む人たちばかり。「六甲が好きやねん」「六甲をなんとかしたいねん」ただそれだけの共通項なのに、ひとたび、なんかしようか」となると、一致団結。各自のキャパシティをフルに活かして猪突猛進していく。いざ目指せ、六甲文化共和国！

われらがメンバーは精神年齢全員十八歳。職業は様々で、商店主建築士、フリーライター、パソンナリテイ、理髪師、書店員、銀行員、教師、学生等々。なぜか女性メンバーが少ないのは、男のロマンを求めすぎるところが強すぎるためであろうか。

来たる者は誰とでも拒まず、去る者は追わずの基本姿勢でもってこの二年間頑張ってきた。規約なんてあってないようなものであり人間関係が第一。とにかく、中に



2月24日、アイスロード復活祭。六甲山頂に全員集合。

入ってみてのお帰り。肌に合わないければそれまで。意気投合すればよっしゃ一緒にやろう。

要するに、おめでたい人間の集まりなのだろう。それにしても、各人どこかネガティブな要素を抱えており、きまじめ過ぎる嫌いもある。人恋しさが孤独に映るところ無きにしもあらず。そのくせ、人一倍理想に燃えているのだから世話はない。

ひとがひとを呼んで集まりとなる。そして、力となって外に働きかけていく。個々の利害は二の次に、六甲のドンキホーテたちは風車めがけて突進していくのだ。おもしろいことは善き哉を相言葉に。

過去の行事としては、一風も二風も変った「六甲ギャルコンテスト」を皮切りに、次いでぐっとまじめに「文化講演会」を開いて、地域文化の啓蒙に尽してみたり、今に生きる「昔の道」の意義を再発見しようと「アイスロード復活祭」(六甲山上の氷を下界まで運ぶ)を企画したり、いやはや賑々しいことである。

われわれの欠点は限界を知らないことであって、アイデアが湧いて湧いて収拾がつかない程に、「六甲を考える会」は過激な、それでいて超保守的な集いである。皆さん、一度ひやかしにやってみませんか。

■六甲を考える会事務局

神戸市灘区宮山町2-8-15

六甲フオーカス研究所内

☎078-841-4633

エトランゼの 輪郭 40

品川 祐治郎

1922/広島県に生まれる 1941/大阪中之島洋画研究所に学ぶ 1946/
大阪市立美術研究所に学ぶ 田村孝之介氏に師事 '47/第1回二紀会展
入選 '76/二紀会退会 '81/第8回兵庫県美術祭招待 '81/元町画廊に
て個展開催



モデル/王 鮎恵美(中国)

汗の中で “憧れ” を描く

王さんは、神戸でも指折りの中華料理店 “神戸元町別館牡丹園” の奥さん。僕なんかには比べたらとても大きな方——僕の “憧れ” を持っている方だった。王さんの “大きさ” をとても描きたくなかった。

港の風が南から吹く、とても素敵な部屋で描き始めた。テレビから流れてくる残酷な話の影響も少しはあったが、久しぶりに身体中怒って、汗を出して絵がかけた。

そういうえば、王さんを紹介してくださった方とも、6年程前、汗をかきながら南京街を描いていた時の出会いがきっかけでおつき合いが始まった。

とっても自然なそんな出会い、ご縁が出来るどころ——それが神戸だどつくづく感じた。聞けば王さんは、学生時代に卓球部をつくったという腕前とか……。今は水泳に励んでおられるようだが、一度お手合わせ願いたい。



王さん(水墨彩)